

## 第4回 鳴門市まちづくりデザイン会議 議事録

日 時：令和7年12月2日 13時30分から15時25分

場 所：鳴門市役所 2階 大会議室

参加委員：内藤廣座長、永易委員、林委員、森下委員、河野委員、西谷委員、黒崎委員、浜委員、池田委員

事務局：まちづくり課 小川課長、碇主幹、林副課長、岩久保副課長、齋藤係長、大端係長、八幡主事、戦略企画課 吉川課長、公園緑地課 清水課長

発言者	主な発言内容
事務局	只今より、第4回 鳴門市まちづくりデザイン会議を開会いたします。開会にあたり、座長より、ご挨拶をお願いします。
内藤座長	<p>最近思っていることを1つお話させていただきます。朝ドラの「ばけばけ」があるじゃないですか。あの主題歌が大好きでね。何をしゃべってるかっていうと「毎日難儀なことばかり」ってね。日々、難儀なことばかりですよね。だけどまちづくりっていうのはそういうものをうまく調整して、次の世代、そのまた次の世代にどういうものを渡せるかというのがまちづくりデザインの大重要な役割だと思っています。</p> <p>まちづくりデザイン会議も4回目になります。そろそろみんな様子もわかってきてますので、皆さんから良い意見をいただきながら、一方ではまとめる方向でも動かなきや何も決まらない。みんな良い意見はすごく言うんだけど結果として何もまとまらないっていう会議になると最悪なので、これまでやって来た議論をしっかりとまとめていくようにもっていきたいと思っています。</p> <p>現在、基本計画に行く手前の基本構想づくりは骨子くらいまでは来ているということです。それをどうまとめていくかという話ですけども、市役所内でもいろんな調整が大変だと思います。何かをやろうと思うと調整がものすごく大変で、ご苦労をされていると思います。今回は、鉄道会社にも加わっていただいてますので、私は鉄道駅が変わるとまちが変わると思っています。これまでいくつかのまちづくりをやってきましたけど、具体的にどう変わるかではなく、人々の気持ちが変わることです。そうした意味でも多様な委員の皆様にもご参加いただいてますし、良い議論を進めていきたいと考えています。</p>
事務局	委員構成についてご報告いたします。鳴門商工会議所の安宅委員さんの後任といたしまして、これまで代理で参加いただいております、中小企業相談所長、浜様が新たに委員として参加されることになりました。 どうぞよろしくお願ひいたします。
浜委員	安宅委員の後任となりました、鳴門商工会議所の浜と申します。よろしくお願ひいたします。まちづくりについては分からぬことが多いですが、よろしくお願ひいたします。
事務局	本日は9名の委員中9名の委員に出席いただいておりますことご報告申し上

	げます。 会議設置要綱 第6条第2項の規定により、会議については、座長が進行、運営するとされております。これより、内藤座長に会議の進行をお願いします。
内藤座長	それでは私の方で進行をさせていただきます。委員の皆様には、忌憚のないご意見をいただければと思います。それでは議事 1「前回の振り返りと現状報告について」事務局より報告してください。
事務局	(事務局より、前回の振り返りと現状報告の説明を行う。)
内藤座長	これまでのところで何か意見があれば。池田さんどうぞ。
池田委員	<p>事務局からセンター街の話と新スポーツ施設の話があったかと思いますが、デザイン会議とどう関係が出てくるかというところは、整理が必要だと考えています。</p> <p>センター街については、解体費用の助成の提案を正式に市からしていく予定ですので、第2回デザイン会議時の状況とは違うんですけど、センター街の状況を本会議としても注視していくということをその時に確認させていただきましたので、今後動きがあればデザイン会議でも報告し、必要に応じてご議論いただければというふうに考えております。</p> <p>新スポーツ施設については、デザイン会議開始前、あるいはキョーエイ駅前店の閉店前に、ボートレース場敷地を候補地とする基本構想が示されておりました。その後の状況変化で、再度ボートレース場とまちなかとで比較検討しようということあります。</p> <p>基本構想における場所の選定については、本会議とは別の組織で検討されていました。現時点での組織は解散されたんですけども、これら状況変化を受けて、再度委員にお集まりいただき、年度末を目処にボートレース場とまちなかとでもう一度比較検討をするということになっております。この点についても、議論の内容等についてデザイン会議にご報告をさせていただくという整理をさせていただけたらと思っております。</p> <p>また、今回の市長の政策資料の中に、「まちなかサッカー専用施設（スタジアム）」という話がありました。それについては、タスクフォースを設置して、調査研究を行っていく予定です。</p> <p>デザイン会議は、実施要項のとおり、重点まちづくりエリアの中のまちづくりに関するることはすべて話ができるという立て付けになっております。しかし、3項目とも他の組織で議論・検討を進めるということでありますので、状況変化があれば、デザイン会議で報告し、必要に応じて議論していただいて、関係部署にも伝えていくという形で整理させていただければというのが市の考えです。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
内藤座長	今の池田さんの話だと、我々は一体何をやったらしいのかよく分からぬって感じです。別の部会の意見を聞いてそれにNOを出せるかというとそうでもない。じゃあみんな集まって何を話すんだってことになるので、そこは慎重に考えてもらいたい。せっかくここまで集まって積み重ねてきているのだから、多

	少なりともそのプロセスに我々誰かが関与すべきと思う。この中のメンバーの2名は別の委員会の議論にも加わってみたいな形にしないと、集まって話しても絵に描いた餅の話をするだけになる。それでは無責任なので、いまこの外に分科会みたいな形で作っていくんだとすれば、そこに少し我々のメンバーを配置してもらいたいなというふうに思います、それは可能ですか？
池田委員	そういうふうなフェーズがあるということは市としても想定しております。
内藤座長	委員会だと、知らない間に話が進んでて、もう何もできませんみたいな状態になってることがよくあるんです。でも鳴門市は市長さんが思い切ってまちづくりをやるんだというふうに言われて、動かすためには機動的な話も含めたほうがいいと思うんです。大所高所で形だけの議論をしてもまちづくりは進まないと思うので、そのあたりもまた検討をお願いします。
河野委員	<p>今、池田委員が言われた話これからいろいろ議論が進んでいくんだろうなと思います。私も商店街の理事長として出席させていただいてますが、プールやスポーツ施設がどこにあることが一番便利なんだろうということをデザイン会議のメンバーとして考えなければいけない立場だと思っております。商店街に作ってくださいと言っても場所は無いわけですね。駅前にあれば、駅を利用するお客様がそのまま駅を下りて、スポーツ施設とかプールで水泳の練習ができるっていうのは、まちとしては正しい姿なのかなと思います。でも駐車場の問題などもあると聞きましたので、総合的に判断してどこが一番いいのかということが、早く決まればいいなと1メンバーとして思っているところです。</p> <p>商店街もイベントさせていただきながら、鳴門駅の周辺が変わった時に、商店街としてはどうなっていったらいいんだろうと。例えば集客装置としてこういうお店があったほうがいいんじゃないだろうか、こういう施設があったほうがいいんじゃないかなというのを、使える空き店舗もありますので、予算の問題はありますけども、今みんなで模索しているようなところでございますので、そういう前向きな気持ちで取り組ませていただいているところでございます。</p>
西谷委員	<p>不動産的な部分で見ると、土地を動かすことが今後メインになって来るのかなという中で、土地の集約という点では、この先反対する人も出てくるだろうと思いますが、市が説得していくのか、どこが中心になって進めていくのかという点はすごく気にしています。</p> <p>建物に関しては私の勝手なイメージですけども、駐車場の問題があるのであれば、建物を上に伸ばして、鳴門に20階の建物がついにできるのかとか、そういうイメージも持ちながら駅前にどういうものができるのかなというのは非常に興味を持っております。</p>
内藤座長	現時点ではキョーエイを解体するっていうところまでは決まっている？
事務局	現状では、これから所有者である組合の方に、市が補助金を出して除却するという形の提案をさせていただくという段階であります。
内藤座長	そのあとの事業に関してはまだ白紙で決まっていない？
事務局	はい。その部分についても今後のデザイン会議の中で少しずつ議論していく

	ればと思います。
内藤座長	<p>別の話をすると、奈良県に平城宮跡をどうするかっていう委員会があつて、私が座長をしているんですけど、知事さんは北の方は史跡で南の方は商業を開発したいという意向。土地の整備までは県がやる、そのあとは事業者を募って進めていくっていう2段階にしてるんですよ。あれは1つの知恵かもしれない。要するに事業参入するハードルをすごく低くしましようと、そのうえで民間でやりましょうという形を組んでいて、参入する事業者がいるのかなと思ったら、5社が手を挙げていました。だから行政的には、行政と民間の中間くらいのいろんなやり方があるので、すべてを行政がやる必要はないのかもしれませんね。奈良県方式というのもあるんじやないかと思いました。</p>
林委員	<p>デザイン会議の中で、鳴門市のまちをこうしていくっていう話をしてますので、それぞれの施設が連動してほしいなという思いがあります。個別に出来てしまふとどこに向いていくかというのが難しくなります。あとはJRさんの駅に近ければそれが一番だと思いますし、駅から離れた場合はバスがカバーするエリアなのかなと。</p> <p>また、徳島県は車社会ですので、最初にお話のあった駐車場の整備は必須だと思います。僕の住んでいるのが鴨島町で、「日本フネンアリーナ」が出来たんですけど、中学生の部活の大会をする時に駐車場が無くて。結局は、運動場を駐車場にできたりするので中学校の体育館で大会を開いたりしてますので、結局誰のために作ったのかなと。もちろん他の大会で使ったりはするんですが、駐車場の確保が結構大変だったりするので、もしまちなかを整備していくのであれば、やはり駐車場は必須です。ただ、車で来れない方もいらっしゃいますので、そこはJRさんや私どものバスといった公共交通がカバーしていくイメージかなと思います。</p> <p>地方の都市が財源不足や人不足で厳しい中、未来を良くしていくための会議ができる鳴門市さんは素晴らしいことだと思いますので、せっかくやっていくのであれば、ある程度この会議と協調しながらまちづくりを進めていければいいのかなと思います。</p>
内藤座長	なにをやるにも車のアクセスは必要だっていう話だよね。
林委員	そうですね。理想はバスに乗ってください、JRに乗ってくださいなんですが、今の状況を見るとそれも難しい。本当にそれが良いのであれば、鳴門駅にもっと立派なものが建っていたり、バスの本数ももっと増えていると思うんですけど、今の現状を見ると、まずはここに人が来れる体制を作るということが必要かと思います。田舎であれば駐車場は必要かと。
内藤座長	駐車場は面積がいるよね。1台だいたい30m <sup>2</sup> 必要だとして、1,000台だと30,000m <sup>2</sup> 必要。ひょっとしたら施設より駐車場の方が大変かもしれない。
浜委員	商工会議所としましては、市や建物を所有されている方もいらっしゃいますので、特にセンター街跡地の活用方法については今のところは静観という形を取らせていただいております。新スポーツ施設につきましても、中心市街地

	での整備について再検討を行うこともありますので、そちらの検討の経過を見守っていきたいと思っております。
内藤座長	<p>私ももう渋谷を20年やってるんですけど、渋谷のまちづくりの中心は商店会なんです。道玄坂商店会長と宮益坂商店会長が中心で、商店会の人はいろんなことを言う人がいるんです。最初はとにかくいろんなことを言いすぎてわけわかんないくらい、みんな自己主張が強い人が集まってるんだけど、それを二人がまとめてくれて、今や我々は盟友、ダチと言ってもいいかも知れない。やっぱりまちが活気を帯びるためには彼ら商店会の人が本当に中心になってほしいなというふうに思います。</p> <p>商店会の人は、このまちがどう変わって来たかっていう長い歴史を知っているわけで、ぜひ商店会からも何かいろいろ意見が出るといいなと思っていますのでよろしくお願ひします。</p>
黒崎委員	<p>鳴門駅が動くと、谷通り、道が国道に繋がり、またその向こうの撫養川に繋がっていく。そこにすごい希望というか、わくわく感を感じるんです。繋がることによって希望が生まれる。その後、鳴門駅の跡地、センター街の跡地などをを利用してコンテンツを作っていくわけなんですけども、駐車場もいるし、新スポーツ施設を作るとなると敷地もいる。すべてを盛り込むことはできないので、そこから何を作ればいいのかっていうのを考えていかなければいけないんだろうなと思います。</p> <p>鳴門駅が動くということは非常にインパクトが大きく、そこが起爆剤になって鳴門が変わっていくんじゃないかという期待を持って見ております。</p>
内藤座長	<p>前提として、JRさんの許可が必要であったり、いろいろ条件が整わないといけないんだけど、鳴門駅をもし動かしたとして、大きさからしてもそのこと自体はそんな大した事業ではないと僕は思うんです。でも、そのことによってまちの構造全体が変わって来るんだよね。見え方も変わってくるしまちの空気も変わってくるし、駅を動かすというきっかけが出発点でまちがいろいろ変わってくるような気がします。</p> <p>僕の経験で言うと、商業なんてわかりやすくて、ここが商売できると思ったら嫌でもみんな出てくるんだよね。まちの中にそういう空気が出来上がって来るといいかなという風に思います。</p>
森下委員	<p>先ほどスポーツ施設とサッカー場の話が出て、これからどういう風にデザイン会議の議論に入していくかというお話になりましたけれども、今、鳴門市が置かれている状況を鑑みたとき、個別に見たら別々の議論であるべきだとも思うんですが、なぜ内藤先生が座長になったデザイン会議という名前の会議があるのか、ということの本質は、まちの構造や人の導線などをもう一度きちんと見て、デザインしなおすためというふうに私は理解しています。そこから考えると、この会議がプロデューサー的な立場になって、まちはこうあったほうがいいんじゃないかという議論がもっと活発に、開かれた場で行われることによって、次世代やこれまで関係ないと思っていた人たちも一緒にあって鳴門のこ</p>

	<p>とを考えるようになるんじゃないかなと思います。</p> <p>デザイン会議が上から意見を言うということではなく、また縦割りの仕組みではなく、鳴門のまちってこうだったらしいよねということが言いやすい空気をこの会議から作り出せていけたらなと思っています。私も観光事業者として思うのは、構造が変わって人の流れが変わって、商売人が動き始めたら、観光客、いわゆる交通弱者である方々がどのように動くのか。バスを使ったり、列車を使って、どうやって来てくれるのかということが見えてくると思うので、ますますまちが発展していくのではないかという風に期待しています。</p>
永易委員	<p>これまでの委員の皆さんのお意見を聞いても、駅というのが単なる乗り降りの場所ではなく、地域で大事にしている場所なんだという思いもあり、鉄道事業者として非常にありがたく思っております。</p> <p>駐車場の話が先ほど林さんからありましたけれど、その点は同感でして、公共交通を利用していただければ非常にありがたいんですが、今の公共交通の分担率を考えると、全てを公共交通で賄うというのは正直難しいと思っています。当社管内における高松や松山のまちづくりにおいても、駐車場をどうするかという議論はありますし、それぞれの施設が駐車場を作るのではなく、共用的に使えるような駐車場を作っていくのが大事なのではないかという議論をしております。センター街ビル跡地とスポーツ施設の話もありましたけれど、時間軸がデザイン会議とは少し違うのかなと思いますが、それらの検討の話がこのデザイン会議にフィードバックしていくことは必要なのかと思っておりますし、今後のスケジュールも含めて改めて整理いただけたら議論しやすいのではないかと思っております。</p>
内藤座長	<p>駐車場の問題が皆さん大きな意見の一つとして出てきましたね。施設にはつかり目がいってるんだけど、駐車場の話も一緒にちゃんと考えてもらうよう申し上げておきます。</p> <p>それから、デザイン会議ってよく分からぬ名前ですよね。ほかのところでもやってるんですけど。基本的には全部やります。デザイン会議っていうのは、状況把握だけは全部するようにしていますので、例えば、役所の仕組みの中で事業的にまだ決まってないので言いにくいことがある。それは当然分かるわけだけど、そういうものも本当は情報として出して貰って、資料は最後に全部回収しても構わない。そんな資料が机の上にあって、初めてリアルな話になってくるのかなという気がしますので、綺麗ごとだけで終わらせたりしないようによろしくお願いします。</p> <p>「デザイン」って言葉が中途半端な言葉なんですけど、デザインの語源っていうのはディジグネット、指示すってことなんです。なんとなくベールに包んで優しくラッピングしましょうという話じゃないんです。デザインの本質は、物事の本質的な組み立てにも関与して、あるべき方向を指示すというのがデザインという言葉の本来的な意味なので、この会議も出来ればそういう方向に持っていくたいと思っています。</p>

	<p>また、中学生のお話はとてもよかったです。ただ、あんな怖いおじさんに囲まれてかわいそうだなとも思いました。もうちょっと自由な雰囲気で言わせてあげたいと思ったけど。</p> <p>お願いがあります。中学生にアンケートを取ったりいろいろと提案したものは1%でも2%でもいいから実現してあげてください。何もしないとまた大人は信用できないという話になっちゃうので、小さくてもいいからともかく実現するというふうに動いてもらうと嬉しい。そうすると次にもっと若い世代の側からいろいろ意見を出してくれるようになるので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。</p>	
事務局	(事務局よりまちのコア・都市機能とコンテンツについての説明を行う。)	
内藤座長	よくまとめてくれました。ありがとうございます。これについての印象を聞きましょうか。森下さんどうですか。	
森下委員	非常に分かりやすい資料で、その中でも一番びっくりしたのは、鳴門市と他市町を比較してコンテンツの事例を付箋で示してくださっている13ページです。これは結構衝撃的でした。私たちが欲しいものを1つ1つ挙げていくと、勝手なことばかり言っているなと思うくらい欲しいものがたくさんあるんですが、まちの構造を変え、仕組みを作るということがどれだけ大事なのかと考えたときに、いま議論していることの重要性、責任を感じる次第です。でも本当に期待ができるなと思いました。	
河野委員	すごく分かりやすい資料だなと思いました。私自身、中心市街地で生活する中で、例えば敦賀駅のデザインがすごく好きで、再開発された事例として注目していました。一方で、出来上がったものが市民の皆さんにどれくらい使われてるかについては、少し疑問が残るという話も聞いたことがあります。でも人口規模も近く、鳴門駅が新しくなったときに、敦賀駅のようなデザインが一番ハマりやすいのではないかと勝手に思っていたんですが、今回具体的に事例を挙げて説明をしてもらうと、全然整備されているものが違うんだなと思ったところです。	商店街に振り返ってみると、テナント主を募集している空き店舗が2店舗ほどあります。もし駅が動いて、例えばC案の駅前が商店街になるのであれば、僕たちもこの空き店舗の中で次世代の若者が求めるような建物を整備することも考えられます。一方で、商店街には年配の方が多く、年配の方は同世代の皆さんのが集まる施設が欲しいという声も聞くんですが、何でも民ではできない中で、官の力も借りながらどういった施設や機能を作っていくべきかについて、デザイン会議と同時進行で商店街としても考えていかないといけないと思っているところでございます。
内藤座長	僕の方から質問があります。先ほどから駐車場が大事だと皆さんのが共通認識としてあると思うんですけど、どのくらいの駐車場を用意するつもりなのか。むしろそこから逆算したほうがっていう感じもしたんだけど、どうですか？	
事務局	現時点ではつきりとした回答は持っていないんですが、多くの施設が関わっ	

	てくるという中で、事務局としても駐車場が重要だというのは感じているところでありますので、前もって考えていくことが大事だと考えております。
内藤座長	<p>駐車場に関しては、今車に乗ってる人たちがいずれ乗らなくなる時代も来るという話もあって、どこまでの需要が必要なのか分かってないんです。鉄道事業者さんもバス事業者さんもはっきり答えられないところだと思う。だけどまちづくりを考えるのであれば駐車場を考える必要がある。</p> <p>日向市では何が起きてるかというと、あそこは確か駐車場が無料なんです。そうすると延岡の人が宮崎に出るときに、日向市まで車で来てJRに乗る、そうすると結果としてJR九州の日向市の乗降客数が伸びるという関係があります。からくりは割と簡単で、駐車場については真面目に考えておく必要があると思っています。</p> <p>もう一つは、大きい駐車場をどんと作ればいいのかというと、まちなかに駐車場が増えて殺伐とした風景になるのは、まちづくりをやっていると気になりますよね。</p> <p>周南市のまちづくりをやった時に、ちょうど国土交通省がプリンジ駐車場という考え方を出していて、結構これが面白いんです。分散的に駐車場を設けるという考え方で、地方都市には合ってるんじゃないかなと思います。周南市でもデパートがなくなったりとかして、更地が駐車場になっている場所がたくさんあって、そういうところを有効利用すれば十分駐車場は足りるという話でした。ただその場合は、ひょっとしたらデジタル化の必要があるかもしれない。実は渋谷でもやろうとしたことがあって、再開発の中心部の駐車場を減らして、その代わり周辺に確保しようという話が出た。でも、その場合は情報を共有しないとあそこの駐車場が空いてるとかわからない。だから情報化をしてプリンジ駐車場で対応するというのも、いままちなかに結構殺伐とした駐車場がたくさんある中で、それをうまく利用するやり方もあるかもねと。まとまって駐車場を取ろうとすると大変なので。</p>
事務局	私たちも今、いろいろ勉強しているところで、例えば鳴門市のまちなかに入ってくるときに、スマホを見たらこの駐車場が空いてるとわかるような仕組みというのは、先進地でも事例があると聞いています。そういう取組を鳴門市でも出来たらというところは考えておりますので、これからもいろいろと提案させていただきたいと思います。
内藤座長	もしそれが出来たらすごくいいと思う。河野さんのお店の近くに駐車場があって、そこを使ってみんなが買い物したりするかもしれないし、要するに、駐車場が分散的になるというのは今の鳴門市の在り方にはいいかもしないなという気がします。その情報も今度は先進事例などがあれば提供してもらうといいかなという気がする。
事務局	次の議題でも少し触れている部分はございます。
内藤座長	それじゃあ、資料の説明を進めてもらいましょうか。

事務局	(2つの東西の都市軸、川の活用方法、まちなかでの社会実験についての説明を行う)
内藤座長	盛りだくさんですけど、ご意見いただけたらと思います。全部やりたいけどねというところですけど、なかなかそうはいかない。商店街の話が多かったので河野さん、どうですか。
河野委員	<p>本当に盛りだくさんで、全部やりたいと思うくらい素晴らしい内容だと思いました。夢がありながらも現実的にも考えられる案なんだろうなと楽しんで見させていただいたところです。当然、商店街の立場としても気になるんですが、ウォーターフロントにおいても、いいイメージで進んでいくんだろうなと期待が持てました。「水辺が変わればまちが変わる」という先生のお言葉もありましたけれど、水辺でサップとか、前回も言ったかもしれません、鳴門の海の幸を釣ってその場で食べる釣り堀をやろうという意見もありました。中心地でアーバンな釣り堀ができる、市ヶ谷にそんな例がありましたけれど、それも面白いんだろうなと。この辺りはビジネスホテルが多いので、宿泊客が多い地域で泊まった人が気軽に鳴門の釣りを楽しめて、名産の魚が食べれるというのがあったらいいなという話でした。</p> <p>商店街に関しては、非常にハード面のお話をたくさん提案いただいて、電柱の地中化など本当に景観も良くなるんだろうと思います。谷通りについても、鳴門の阿波踊りの重要な踊りロードになっていて、商店街や市民の皆さんのが本当に使いやすい通りになってくれるのが一番いいんだろうなと思っております。谷通りは、私も幼い頃からの思い出がありまして、実は小学一年生の時に会社が谷通り寄りに移りまして、放課後には子どもたちが絶対集まるおもちゃ屋さんや気軽に手巻きずしが食べれる店、それを買って汽車公園で遊んでたという古き良き思い出も覚えてます。屋台村など魅力的なコンテンツもいっぱい出てきましたが、谷通りは場所や道幅を考えても、今すぐにでもできることがあるんじゃないかなという気がしました。</p> <p>商店街に関しても、鳴門駅周辺の再整備が進んでいく中で、いろんなことが前に進んでいってほしいと思うんですが、「10年後のステーキより明日のお茶漬け」と言いますが、今できることは何だろうということを組合員の中でも考えているところです。例えば、阿波銀行さんの前をポケットパークにするというのは比較的すぐできるのかなと思ったりしてます。非常に希望をもって見させていただきました。</p>
内藤座長	アーケードについてはどういう印象ですか。
河野委員	アーケードは本当に商店街の象徴と思っていまして、どちらかというと今の組合員の意見はアーケードは保存したいという意見が大半なんですが、老朽化の問題もあって、組合費から積み立てをして雨漏りしている箇所などは1年に何回か補修しています。しかし、そうした部分的な改修だけではなく、全体としていつまでもつか分らないという状況になってきているのかなと思います。解体する費用も新しく整備する費用もなかなか商店街単体では出せず、阿

	波銀行さんの建て替えの際には広い間口が必要になるのでアーケードを取らざるを得なかった。あの場所にアーケードが無くなってしまうので、ポケットパークという新しい空間ができるのはいいなと思うんですが、商店街としては、防犯面も含めてアーケードは保存できた方がいいと考えている組合員がほとんどではないかと思います。
内藤座長	建築的なところで、黒崎さんどうですか？
黒崎委員	<p>買い物客のことを考えると雨や日差しも凌げるのでアーケードはあったほうがいいんだと思います。ただ、先ほど河野さんがおっしゃったように維持管理の問題が難しいのかなと思います。</p> <p>アーケードではないんですが、谷通りについて、私が見る限り日頃はそんなに交通量は多くないです。2車線あって、中央分離帯もあって結構広いので、仮に1車線をつぶして片道1車線にしたとしても渋滞はさほど起こらないのかなと考えております。歩道を広げるなど、ウォーカブルシティとしてたまり場を作っていくというのもいい案なんじゃないかなと思います。ただ、阿波踊り用の桟敷のスペースは確保しておかないといけないんだと思います。</p> <p>また、徳島市のウォーカブルに関する実証実験の話が出ましたが、私も初日に通ってみました。車道をバリケードで囲って1車線にして、結構広いスペースの中、遊具やキッチンカーなどもありました。ただ、正直さほど賑わっているようなイメージは持たなかつたんですよね。だから、ただ単に歩道を広げるだけではなく、何か仕掛け的なものが必要になるのかなと思いました。</p>
内藤座長	電線の地中化についてはどうですか。
黒崎委員	電線の地中化は確かに空が見えて、結構すっきりします。電線の地中化をしているどこのまちに行っても、すっきりしたいまちだなという印象を感じます。仮に道路もアスファルトではなく石畳などにしたらより良い雰囲気になるんじゃないかなと思います。
内藤座長	電線の地中化ってとんでもなくお金がかかるんですよね。メーターでいくらくらいかかりますか。
事務局	単価については詳しくは把握していないんですけど、まち全体を地中化するというのではなくて、例えば商店街だけとか、一つ一つ重要な部分に特化していく形がいいのかなと考えております。
内藤座長	もし電線の地中化を1つのメニューにするんだったら、ものすごいお金がかかるからよくよく考えたほうがいいです。それだけお金をかけても効果があるって確証がないと、なかなか合意を得にくいかもしないとは思います。もちろん地中化できた方がいいんだけど、とてもお金がかかる話なので。
西谷委員	駐車場の件に戻るんですが、現状、駐車場が足りているかと言うと微妙に足りてないところがあります。なぜかというと、建物が建った時には一人一台の駐車スペースで足りていたんですけど、例えばマンション入居とかになると2台分のスペースが必要になってくる。そうなると駐車場が足りない。あともう一つ、住む人だけではなくて、通勤する人たちも駐車場が必要なんです。結局、

	<p>働きに来る場所があるということは、その働きに来る人たちのための駐車場も考えておかないとだめなのかなと思います。</p> <p>前の話に戻っちゃうんですけど、鳴門駅って終着駅で、今回資料に出てきているのも通過駅が多くて、そういう点で鳴門駅って開発するのにすごい難しい場所なのかなと思います。私も大阪の箕面に住んでいたんですが、箕面駅も阪急の終着駅、北千住とかも同じで少し開発が遅れてしまう地域なのかなというのは感じていて、そういう意味で終着駅は流れを作ることが難しいのかなということは思っております。</p>
内藤座長	やり方次第だね。永易さんに聞いたほうがいいかな。
永易委員	やり方次第だと思います。終着駅とか頭端駅は数が少ないので、おそらく再開発された例が少ないのかなという風に思っております。
内藤座長	門司港駅。ここは頭端駅で、降りると駅前の広場が整備されていて、駅を降りたら港に出るような、情緒を感じることができます。ヨーロッパの映画で別れのシーンとかが撮影されてるのはだいたい頭端駅。うまくやればドラマが生まれるような場所になります。
永易委員	四国内ですと、高松や宇和島、おそらく抒情がある駅ではあると思うんですが、函館などもそうです。
内藤座長	頭端駅はなかなか個数が多くないので、うまく作ることができれば、この鳴門駅に手を加えるっていうのは絶好のチャンスだと思います。ここでドラマの撮影とかが行われるようになるといいね。
林委員	24ページで紹介のあった、三好市さんの地域みらい創発センターについて、徳島バスの子会社が池田にありまして、数カ月前にここの貸会議室で役員会議を行ったんです。こんなところがあるんだなというのが最初のイメージで、中を覗くと高校生がいっぱい居て、パソコンを持ち込んでおしゃれなビジネスマンもここで仕事をしていたり、利用者が多い。半分図書館のような施設なんですが、きれいなトイレも整備されてて、一般向けには貸会議室もある。三好市のまちは歴史のある街並みが並んでいるんですけど、それらは生かしつつ、こういう新しい施設にも入れて、まちを作ってるっていうのが面白いなと感じたと同時に、結構参考になるんじゃないかなとも思いました。こういった施設ができれば、アンケートにもあった子どもたちの欲しいスペースになるのかなと思いました。
内藤座長	三好市はそんないいのかな。
林委員	規模としてはそんなに大きくはないと思うんですが、時間をつぶしたりゆっくり過ごすというような場所として結構よかったです。
森下委員	この資料を拝見して、これまで意識していなかった点に気づかされました。それは道についてです。実は日本には○○街道というふうに道そのものに名前がついている場所というのはそれほど多くありません。でも鳴門市には、商店街には撫養街道がありますし、谷通りのように名前の付いた通りもあります。資料25ページでは、高松市、那覇市、神戸市の事例が出てますけど、いわゆ

	<p>る目抜き通りと呼ばれる道路ではインターロッキングにしたり、路面をきちんと整えていたりと、道自体の整備にしっかりと手を掛けているということに改めて気づかされました。自分自身も普段通っていて気づかなかつたんですけど、美観としては大きな違いがあるなど感じました。谷通りも、大道商店街もそうですが、現状ではやはり道路という印象が強い。ですから余計に道の舗装を変えるだけでこんなに美しく見えるんだなと思いました。</p> <p>先ほどお話したように、名前のついた通りというのを、何年か後に「この通りは目抜き通りなんですよ」と言えるようになるには、資料のご提案にあつたように植樹を行い、季節を感じられる道にするとか、それらを集中して考えて、「ここは私たちの誇りの道なんですよ」と言えるようになると面白いのではないかと思います。</p> <p>先ほど先生が、駅でロマンスや物語が生まれるとお話されましたけども、通りや街道も、これまでの歴史や人々が生きてきた文化を伝えていくという意味で、十分に活用できるコンテンツなんじゃないかなと思っています。</p>
永易委員	資料の 25 ページに高松の商店街を挙げてましたけども、私も通勤の際にこの近くを通っています。最近は特に外国人の方が多く、夜になると半分くらいの方が外国人で周辺が賑わっています。ベンチや植樹もここ数年で増やしてきていますけど、加えて大きいのは自転車の通行を制限して、押し歩きで通行するようにしています。それを考えたときに、今回鳴門市の商店街の車道の使い方として、自転車通行場所を検討することは必要かと思います。提案では車道と歩道空間だけでしたので、自転車空間についても検討いただければと思います。
内藤座長	自転車については資料にコメントが無いけど大丈夫。
事務局	私どももそこまで考えが及んでいませんでした。確かに自転車に歩道を走らせるわけにもいかないと思いますし、今後検討させていただきます。
内藤座長	<p>東京の例でいうと、無理に自転車線のラインを道路に作ったせいで、総車線も狭くなってるし危なっかしくしてしまうがないんだよね。だから道路整備に関しては、そういうことにならないようにちゃんと考えてやった方がいい。</p> <p>それと最近のモーター付きの自転車、お母さんが子供を幼稚園に送っていく時にみんなあれで通ってるわけだよね。だから道路のことまで含めて考えるんだったら、自転車とモーター付き自転車などについても項目としてちゃんと入れておいたほうがいいかなと思います。</p>
浜委員	資料を拝見させていただいてとても楽しみだと思いました。いろんなご提案をいただいているので、これからまちの姿を何パターンもイメージ出来て、今まで整理できていなかったものを、こういう考え方もできるんだなと改めて考えさせられました。
内藤座長	この内容をどうやって大人の議論に落とし込んでいくのかという点については、これから 3 回くらいかけて話していくことになります。今日のこのメニューっていうのは、ちょうどファミリーレストランに行っておいしそうな物がたくさん載ってるメニュー表を見てるみたいな感じ。だけどそのメニューには値

	段がついていて、「そんなにお金が無いから今日はステーキは食べれない」とか、いろいろ考えるわけじゃないですか。だからいきなりそこに予算を入れるのは難しいにしても、近い将来にできるもの、中くらいの時間軸のもの、長い期間を見据えた大構想といったように、いくつかの段階に分けて時系列的に区分けして考えていったほうがいいのかなと思います。
事務局	まずできるところからという話もある中で、私からもいろいろと例を挙げさせていただきましたが、現実的にはお金の問題もありますし、それ以外にも様々な制約があると思っています。それらを踏まえたうえで、将来的に見たときに何がいいのかを考えさせていただきながら、今後検討させていただきます。
内藤座長	とてもよくまとめてもらったし事例もついているのでいいんだけど、なんとなく夢物語みたいに見えちゃうので、やっぱりこれを現実のものにしていく手順とか、やり方っていうのがしだいに見えるといいですよね。
事務局	分かりました。整えていきます。
内藤座長	例えばアーケードにしても道路にしても、やるとなつたらいざれも大変なんだよね。加えて、駐車場をどうするかという話も結構大事な問題として出てきたしね。どれか一つ解決するだけでもまちは大きく変わるとと思いますが、少しずつ筋道立てて考えていきましょう。次に会議が開かれる時にはキョーエイの話ももう少し具体化してるので。
池田委員	やはりお相手のある話ですので、市からのご提案がきっかけになって、話が進むかもしれませんし、もしくは条件的な問題が出てきて2.3ヶ月では進捗していない、という可能性もあるかなと思っております。
内藤座長	要するに不確定なものを前提に議論を進めることはできないから、とりあえず状況をちゃんと見ながらまとめていくってことですよね。
事務局	(今後の会議の進め方についての説明を行う)
内藤座長	これについて何か意見は無いでしょうか。なかなか大事な話だと思います。最終的にパブリックコメントまで行くわけですね。 そう考えると、ここで示すものについてはかなり一生懸命議論していくないと、後で責任が取れないもんね。なので次の段階では、より大きな流れの話になってくるということですかね。 未来ビジョンというものは、どの程度のものが出てくるのかっていうことだよね。
事務局	これまでの議論を踏まえると、全体的にはまだふわっとした形にはなると思いますが、将来にまちがどのような方向に向かっていくかという点については、ある程度示していきたいと考えています。そのうえで、「こういったことが考えられますよ」といった形で、具体的な内容を付け加えていくことを想定しております。
内藤座長	資料にあったまちのコアの図は出るんですか。
事務局	コアの図に関する議論というところも進めさせていただこうと思います。
内藤座長	パブコメにコアの図は出すわけですか。それは結構大きいよね。

事務局	そういうところでパブリックコメントをかけさせていただいて、普段見ていない市民の方からもご意見をいただきたいなと思っております。
内藤座長	まちのコアの図を出すのであれば、JRさんの許可が無いといけない。JRさんの許可が無いとそれは出せなくなるので、その辺りの調整は大丈夫ですか。
事務局	JRさんとも協議のうえ、進めさせていただきたいと思います。
内藤委員	<p>少しデリケートな部分なので、ちゃんと手順を踏んでいただいたほうがいいかなと思います。</p> <p>かつての国有鉄道がこんなに協力的なことはめったに無いので、この機を逃さないようにね。</p> <p>私自身、いろんなJRの人と話をすることが多いんですけど、やっぱり、まちとともに生きていかなきやもう生き延びれないと思ってるんですよ。おそらくバス会社も同じだと思うんだけど。</p> <p>やっぱりまちが発展して鉄道もなんばっていう考え方には、これは全国、北海道から九州までそういう感じになっているので、だから一緒に発展していくましょうというメッセージだと私は思ってるんですけど。</p>
永易委員	たぶん徳島バスさんも一緒だと思うんですが、私たちは全国展開の会社などとは違って、四国、徳島、鳴門から逃げられる会社ではありません。当社は四国に根差した会社として、地域が元気になってくれればお客様もたくさん来ていただいて、結果的に公共交通を利用していくことに繋がると考えておりますので、出来る範囲で協力させていただきたいと思っております。
内藤座長	本当は拍手したいくらい。一時代前の鉄道会社って全然こんなじやなかつたよね。とても素晴らしいことです。共存共栄でお互いに発展できるようにしていきたいですね。それから徳島バスさんもたくさん人を乗せてくれるよう、みんなが車で来ちゃうと困るかもしれないけど。
河野委員	<p>次回、5回目の概要のエリアビジョンという部分に、商店街も入れていただいておりますが、やはり組合員の中でも共有しておく必要があるかなと思っております。鳴門駅周辺の再整備にあたって、商店街としても、希望や行きつくる先の目標のようなものを持っておかないといけないのでないかと。</p> <p>先生の著書にも「まちはそのまちに住む人の思ったようになる」という言葉があったと思いますが、どこの自治体にも「どうせ何をやっても変わらない」といったネガティブな意見を持つ方が一定数いらっしゃると思います。ただ、そういう思いのままでいると、結局何も変わらないまちになってしまいます。一方で「こういうまちになりたい」という思いを持つ人が一人でも多くなっていくと、本当にそういうまちになっていくんだろうなと思っています。</p> <p>組合の中でも、定期的なイベントはやっていきたいけども、交通規制がかかることお客様の出入りができなくなってしまうので、イベントばかりになるのはどうかという意見があつたり、決して一枚岩で考えがまとまっているわけではありません。ただ、商店街が残っていくためには、個人のお店が残っていかないといけないので、どんなまちになっていたいか、どんな商店街になってい</p>

	<p>たいかという思いについては、商店街としても目標やビジョンを持っていてもいいのではないかと感じました。</p> <p>第5回の際に、完成したものを見せていただくというよりは、商店街だけではなく、谷通りや中心市街地に関わる方々もみんな思っていることがあると思うので、何も変わらんって思っている人もいるでしょうけど。何も変わらない再整備になっては絶対にいけないと思いますので、そういう話したかった場というか、相談ができたらなと思いました。</p>
内藤座長	<p>商店街としての、イメージみたいなのがあったほうがいいんだよね。</p> <p>行政はやっぱり固いので、歩道整備とか具体的なメニューになりがちなんだけど、本当は商店街はこういう風になりたい、こんな人に歩いてほしいというのがあったほうがいいと思います。青臭い議論だけど。</p> <p>実は渋谷もね、宮益坂と道玄坂どう違うんだとかって年中話してるんですよ。違う商店街で昔から仲悪かったんで。宮益坂の方は、青山の方から人が流れてきて、そうすると緑が多い方がいいよね、格式は道玄坂よりはちょっと上みたいな。道玄坂は道玄坂で、うちの方には百件店があったり恋文横丁があったり、路地もあってさ、一番の繁華街はこっちだみたいな。その場所に流れる感じというか、そういうものが本当は何かあるといいんだよね。だから商店街の中でも議論してほしいという思いがあります。それをできるだけこういった資料の中に盛り込むようにしてくれるといいかなって気がする。</p>
事務局	<p>何もないところからイメージを浮かべるのは難しいので、いろいろと提案をさせていただく中で議論を進めていければと考えておりますので、また河野さんとも話をさせてもらいながら、進めていきます。</p>
内藤座長	<p>通りによって、集めたいと思う人の中心が変わってくるかもしれない。いろんな人に来てほしいけど、どこの通りも同じ空間になつたらつまんないので、そこは良く考えて、色付けをしてもらいたいなと思います。</p>
河野委員	<p>この資料に載っている内容についてもすごくいいイメージを持ちましたので、そういうものを共有させてもらひながら、そこからさらにイメージが広がっていくこともあるかと思っています。</p>
内藤座長	<p>1つ心配してるのは、こういう形で役所がレポートを作ると、「すぐに電線地中化をやるんだ」と思い込まれてしまうと困るという点ですね。</p>
事務局	<p>あくまでも提案です。</p>
河野委員	<p>市がこれをやりたいという形ではなく、商店街自身がこういうふうになってほしいという自立的な気持ちを持つこと、それが大事だと思います。そういう話を商店街だけじゃなく、谷通りとか駅前周辺のいろんなエリアでも、しておくべきなんだろうなと思ってきています。</p>
池田委員	<p>今日は資料としては、出しすぎたかもしれません、我々としては、彼は技術屋でもありますので、こういう手法がある、ああいう手法がある、これもできるんじゃないいか、提起してみて皆さんに見ていただきたい、という思いがあつてお出したものです。</p>

	ただ、それをやることだけが走ってはいけないし、皆さんが思い描いているまちとずれてしまってもいけないので、「こんなことが考えられるんですけどどうでしょうか」というキャッチボールをさせていただきながら進めさせていただきたいと考えています。その中で、我々もこういった絵が描けないかと言われば、できる範囲で描かせていただきたいと思っていますし、そこで方向性や将来のイメージを共有して、それが基本構想に何らかの形で盛り込まれていく。次の段階で基本計画に進んでいくことになると思いますので、もう少し具体的なお金の話だとか、これはやります、これはちょっとやめておくといった整理については次の年に落とし込んでいくのではないかと思っています。
河野委員	走りすぎないようにってことですね。
内藤座長	次回でパブリックコメントまで持っていくとなると、これはデリケートな部分だからね。みんながそんなつもりになってしまふ可能性もあるわけだから。ちゃんと丁寧にかみ砕いて説明しないと、夢だけ語って何もやらないのかって受け取られると、まちづくりにとって最悪だからね。少しでも実現していく道筋をちゃんと示すっていうことが必要かなと思います。 すごく難しい次の会になると思いますので、よろしくお願ひします。 では、事務局に返します。
事務局	委員の皆様、長時間熱心なご議論ありがとうございました。傍聴いただきました皆様につきましても、お忙しい中お越しいただきありがとうございました。 これをもちまして、第4回 鳴門市まちづくりデザイン会議を閉会いたします。本日は、ありがとうございました。